

## 産業界の課題を解決する高度な計測・制御技術

株式会社 IHI  
常務執行役員  
産業システム・汎用機械事業領域長

茂垣 康弘  
Shigegaki Yasuhiro



IIC は最先端の検査・計測・システム技術によって IHI グループのさまざまな製品の基盤を支えています。産業システム・汎用機械事業領域（以下、産汎領域）でも IIC との多くのコラボレーションによって製品サービスの高度化にご協力いただいています。この紙面をお借りして IIC の皆さまにお礼申し上げます。

産汎領域では、脱炭素および自動化・省人化が産業界の2つの大きな課題であり、同時に大きなビジネスチャンスであると捉えています。2023 年度重点施策の一環として、「応えよう！幅広いお客さまの声に」のスローガンを掲げ、LCB（ライフサイクルビジネス）の深化と進化を基軸に、既存事業の枠を乗り越え、産業界の課題を解決する事業体への変革を目指しています。

脱炭素と自動化・省人化といった課題に取り組むためには、自社製品の運用・稼働状況にとどまらず、お客さまの生産現場全体の稼働状況を正確に把握し、その運用・稼働パターンを最適化することで、人員の削減や設備の稼働に必要なエネルギー削減など、新たなお客さま価値を生むことができると考えています。このようなビジネスモデルを構築するためには、データを起点としたお客さまの活動の真の理解と価値創造が必要です。すなわ

ち、お客さまの現状を把握する計測技術、データと現場を結ぶシステム技術、機械を動かす機械・制御技術といった一連の技術を組み合わせることが競争力の源泉となります。IIC は IHI グループ内で最大規模の制御人材を有しており、産汎領域とのコラボレーションによって、産業界の課題解決に資する IHI グループの競争力を高めることができると考えています。

お客さまの事業活動に入り込んだ課題解決の一例として、IHI 運搬機械株式会社 (IUK) では、お客さまの工場における製品出荷を最適化するために、資材運搬クレーンの自動化に IIC とともに取り組みました。これによって工場の省人化に加え、作業スケジュールや製品配置の最適化が可能となり、LCB の深化と進化にもつながる、お客さまの新たな価値をつくり出すことができつつあります。

カーボンニュートラル対応や人口減少など、産業界のお客さまの課題解決ニーズは今後もますます高まっていきます。産汎領域と IIC との協働をより一層進めることで、お客さまの事業活動に入り込んだ課題解決の事例を今後も積み上げ、LCB の深化と進化の拡大、ひいては IHI グループ全体の成長へとつなげていきたいと思います。